

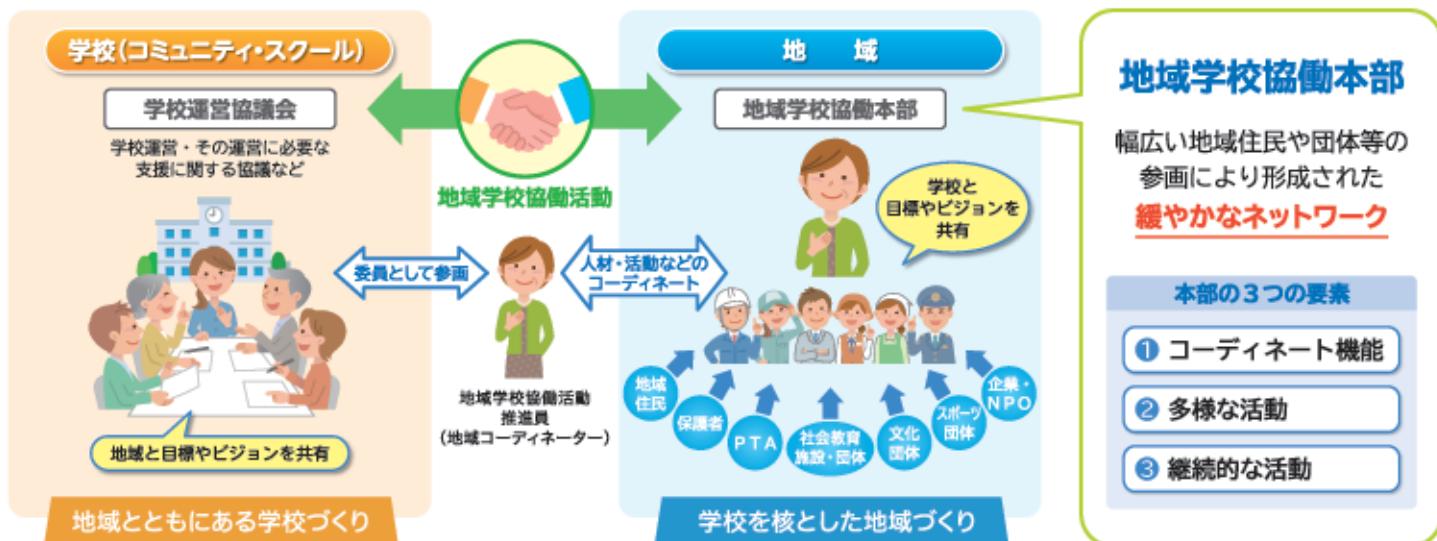
学校・家庭・地域が協働！ 子供たちや地域力を育て、みんなも自分も笑顔に！

地域学校協働活動



保護者や地域の皆さん、民間企業、団体等の幅広い方々が関わり、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことです。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



学校運営協議会と地域学校協働本部が一体的に進めば、このような効果が期待されます

学校が教育課程を開けば

- 学校教育目標を共有できる
- 教育課題を解決できる
- 教育活動が充実できる
- 学校教職員の負担が減る 等

地域が学校に目を向ければ

- 学校と目標を共有できる
- 学校の課題が見える
- 協働するものが見えてくる
- 地域の活性化が図れる 等

地域総ぐるみで子育てを行うことができ、子供も大人も「学びの場」が増え、人づくり・つながりづくり・地域づくりが進みます！

「学校と地域の連携・協働」の意義

学校を取り巻く問題は複雑化・困難化し、今や学校だけでは対応が厳しい現状があり、社会総がかりで対応することが求められています。そのために、学校と地域がパートナーとして連携・協働し、組織的・継続的な仕組みを整備していくことが必要不可欠となってきます。

学習指導要領に示される「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、学校と地域が連携・協働することで、子供たちに未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことができます。

＜参考＞学習指導要領前文から一部抜粋

教育課程を通して、これから時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

できるひとができるときにできることを

